



すながわちく  
砂川地区かわまちづくり

【題名】魅力的な水辺空間とすながわスイーツを融合した官民連携のまちづくり  
【河川】石狩川水系・石狩川（一級河川）



水上アクティビティ



アイスカルーセル（氷のメリーゴーランド）



ウォーターヒルズスクエア



スイートマラニック



水面を利用したイベント



わかさぎ釣り

かわまちづくりの概要

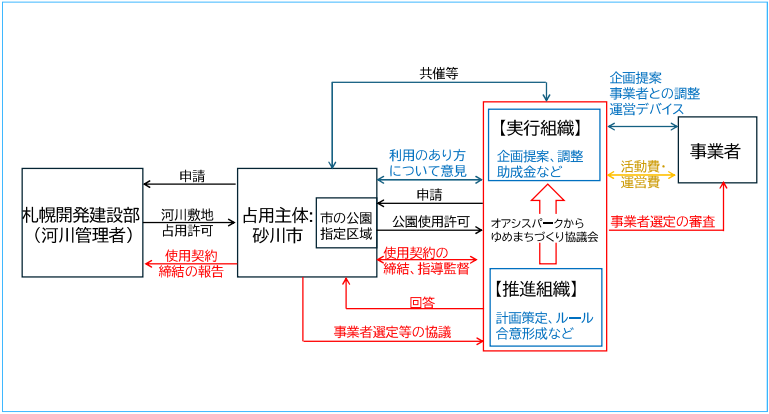
- 河川管理者による親水護岸等の整備に加え、市による多目的広場等の整備により、陸上・水面の両方の利便性が向上し、花火大会等の砂川市最大規模のイベントからカヌー・ヨット・ワカサギ釣り等まで、子どもや大人を問わず、日常的に水に親しめる環境が創出されている。
- 遊水地のかわまちづくりとして治水と親水を兼ね備えた水辺空間を形成し、様々なアクティビティとともに、地域ブランドである「すながわスイーツ」を融合した取組も盛んに行われている。
- 遊水地管理棟を含めた砂川遊水地全体を都市・地域再生等利用区域に指定することにより、民間事業者が営業活動を行いやすい環境が整備され、イベントの魅力向上と来館者増加の好循環が生まれている。

評価のポイント

- 遊水地を活かしたかわまちづくりの事例として貴重で、更に結氷した湖面での活動や冬まつりの開催等の冬季活用を進めている点は、水辺利用における季節格差への対応例として先進的であり、今後のかわまちづくりの参考になる。
- 官民連携の13団体からなる協議会「オアシスパークからゆめまちづくり協議会」が運営の中心となり、河川空間と地域固有資産のスイーツを融合したイベントやレンタサイクル、スタンプラリー等の取組の連携により、まちなかへの回遊が促進されており、その活動に若い世代が積極的に関わっている様子がうかがえ、継続的な取組となることが期待できる。

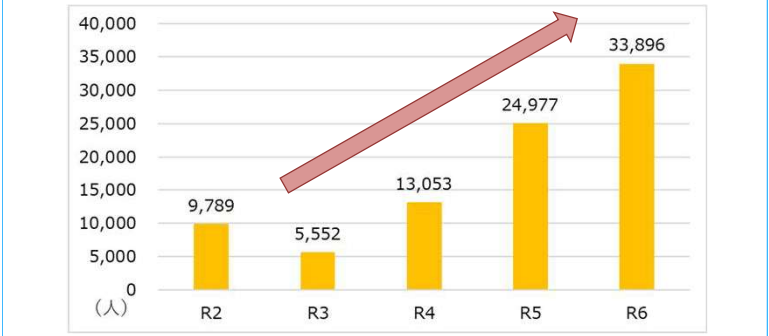
体制

- オアシスパークからゆめまちづくり協議会



管理運営体制図

効果



遊水地管理棟（ウォーターヒルズスクエア）の利用者数の推移